

令和4年度

事業報告書

自 令和4年 1月 1日

至 令和4年12月31日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館事業	1
(1) 馬に関する博物資料の展示	1
(2) 馬に関する博物資料の調査、研究	3
(3) 出版事業	4
(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管	4
(5) 資料の貸出	5
(6) その他のイベント	5
(7) 馬に関する講演会等	6
(8) 他館等との交流	6
(9) その他の協力	6
2 馬展示事業	7
(1) 馬の展示	7
(2) 馬事イベントの開催と外部協力	7
(3) 春秋特別イベント	8
(4) 厩舎管理等	9
3 馬文化保存事業	9
(1) 馬事伝統行事保存事業	9
(2) 在来馬種保存事業	9
4 公苑の管理	10
5 入館者・入苑者	10
II J R A 競馬博物館における事業	10
1 J R A 競馬博物館事業	10
(1) 馬及び競馬に関する展示	10
(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開	13
(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究	14
(4) 出版事業	14
(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管	14
(6) 馬に関する普及活動及び学習支援	15
2 来館者への案内業務	15
3 入館者	15

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業	16
1 競馬振興会館（Gate J.）事業	16
(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信	16
(2) イベントの実施	17
(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映	17
2 入館者	18
Ⅳ 広報活動	18
1 馬の博物館	18
2 J R A競馬博物館	19
3 Gate J. 東京・大阪	19
Ⅴ J R A賞馬事文化賞候補作品の情報収集	20
Ⅵ 寄附金・募金の受入れ状況	20
Ⅶ 庶務	20
1 評議員に関する事項	20
2 役員等に関する事項	21
(1) 役員	21
(2) 参与	21
(3) 職員及び組織図	21
3 評議員会及び理事会	21
(1) 評議員会	21
(2) 理事会	22

令和4年度 事業報告

令和4年度においては、当財団定款第4条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において、首都圏の感染状況や社会情勢等を考慮しつつ、各種感染拡大防止策を講じた上で様々な事業を実施しました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館事業

(1) 馬に関する博物資料の展示

3年振りに新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館をすることなく1年を通して下記のとおり、春・秋特別展及びテーマ展を開催しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
1.5～2.13	テーマ展「武者絵の世界 一人も馬も大あばれ」	第2展示室
	テーマ展「ゆめかわ?ちょいこわ?ユニコーンとペガサス」	第3展示室
2.19～4.17	テーマ展「描かれた『馬のおはなし』」	第2展示室
	テーマ展「馬車づくし!」	第3展示室
4.23～6.26	春季特別展 「馬とメルヘン やなせたかしの世界」	第2・3展示室
7.9～9.25	テーマ展「ウマとクルマ」	第2展示室
	テーマ展「坂本繁二郎と馬」	第3展示室
10.1～12.4	秋季特別展「江戸狩野派と馬」	第2・3展示室
12.10～2023.2.12	テーマ展「馬のお世話のいまむかし」	第2展示室
	テーマ展「季語・馬 四季の風景」	第3展示室

① 春季特別展

やなせたかし(1919～2013)はアンパンマンの作者として知られる漫画家、絵本作家、詩人です。春季特別展では、公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団、株式会社やなせスタジオ、株式会社フレーベル館のご協力のもと、「馬」に着目してやなせたかしの活動を振り返りました。

冒頭では、やなせたかしが馬とかかわるきっかけとなった軍隊での経験について解説しました。第2展示室では、絵本『しろいうま』（フレーベル館、1976年）、やなせたかしが編集長を務めていた雑誌『詩とメルヘン』・『いちごえほん』（ともにサンリオより刊行）の表紙絵等の原画を展示しました。第3展示室では、「アンパンマンとなかまたち」と題し、アンパンマンシリーズに登場する馬のキャラクターが描かれたカレンダー原画等を展示しました。この他、関連する書籍・雑誌も参考出品しました。

関連イベントとして、4月23日にテレビアニメ「それいけ！アンパンマン」シリーズに登場するキャラクター「ばいきんまん」役の声優・中尾隆聖氏をゲストに迎え、グリーンチャンネル番組「草野仁のGate J. +」の公開収録を実施しました。

② 秋季特別展

秋季特別展は、「江戸狩野派と馬」を開催しました。本展では、これまで収集してきた作品に借用作品や新収蔵作品を加えて、馬が描かれた江戸狩野派作品を紹介しました。

狩野派は室町幕府に御用絵師として仕えた狩野正信を祖とする画派です。江戸幕府が開かれた後、江戸に拠点を移した狩野派絵師を中心とする集団を江戸狩野派と呼びます。江戸狩野派は、江戸城の障壁画や外交儀礼の際に贈答品となる屏風の制作等の国家事業を担いました。さらに、諸国各藩の大名に仕えた藩絵師の多くも江戸狩野派に学んだ絵師たちでした。江戸狩野派は、武家政権と強く関係した画派と言えます。

また、武家諸法度に「文武弓馬の道」と記されるように、武士にとって馬は欠かせない存在でした。そのため、狩猟図や合戦図といった武士の理想像や教訓、権威を示す絵の中には馬が重要な役割を果たす画題が多くあります。さらに狩野派は多様な画題を手がけた画派であり、人と馬の関わりから生まれた文芸作品を題材にした絵も制作しています。加えて本展では、描かれた馬が実際にはどのような姿をしていたのか理解できるように騎馬武者模型を展示しました。

その他、関連イベントとして11月12日、榊原悟氏（岡崎市美術博物館・おかざき世界子ども美術博物館特任館長）と当館学芸員による講演会を開催しました。

③ テーマ展

- ・「武者絵の世界一人も馬も大あばれー」では、源平合戦や戦国時代において活躍した武士や馬のエピソード、『三国志』に登場する豪傑らを描いた浮世絵版画を中心に展示し、画面を縦横無尽にあばれ回る人と馬の雄姿を紹介しました。
- ・「ゆめかわ？ちょいこわ？ユニコーンとペガサス」では、青銅製ベルトや銅鏡、コイン等の他、オディロン・ルドン《囚われのペガサス》とい

った美術資料、《美少女戦士セーラームーン》の書籍等を展示し、馬に似た姿をした幻獣であるユニコーンとペガサスについて、その起源や歴史、現代での描かれ方等を紹介しました。

- ・「描かれた「馬のおはなし」」では、日本の合戦や古典、中国の伝説等の「おはなし」に登場した合戦で活躍した馬や、荷物を運ぶ馬等、様々な馬が描かれた江戸時代の屏風等約 20 点を紹介しました。
- ・「馬車づくし！」では、当館が所蔵する幕末から明治期の浮世絵に馬車や馬車鉄道が登場する作品約 35 点を展示し、横浜開港以降、西洋から日本に伝わった馬車が、乗合馬車や馬車鉄道といった新たな交通手段として発展し、文明開化のシンボルのひとつとして都市の生活と景観を大きく変えた様子を紹介しました。
- ・「ウマとクルマ」では、ウマとクルマ（戦車・馬車・荷馬車等）との関係について、5,000 年程前から現代に至るまでの世界各地の事例を幅広く紹介しました。
- ・「坂本繁二郎と馬」では、「馬の画家」との異名を持つ近代日本の洋画家の巨匠・坂本繁二郎（1882～1969）の当館所蔵作品を展示し、代表作の一つである《月光》の他、水彩画や木版画を通して、坂本繁二郎の静謐な絵画世界を紹介しました。
- ・「馬のお世話のいまむかし」では、日本ではどのように馬の飼養管理を行ってきたか、今と昔で変わったこと、あるいは変わらないことは何かを考えることをテーマとし、厩、餌・水やり、馬体の手入れ、蹄のケア、医療、糞尿の処理等のトピックごとに、手入道具、絵画資料等を展示しました。
- ・「季語と馬 四季の風景」では、馬に関する季語（歳時記・新歳時記に掲載）、俳句等を通じて、日本人が四季を楽しむ、愛でる文化を紹介し、懐古にふれ、いやしの心情に迫りました。

④ 常設展示

常設展示は第 1、第 2 及び第 4 展示室において実施しました。

展示物	展示場所
根岸競馬の歴史・皇室と競馬等	第 1 展示室
曲がり家・明治天皇御料馬車	第 2 展示室
ウマの進化・馬と人との関わり	第 4 展示室

※新型コロナウイルス感染防止のため体験用機器等を一部制限した。

(2) 馬に関する博物資料の調査、研究

- ① 当館所蔵のウマ遺存体（馬骨・馬歯）21 点に関して詳細な情報を得るため、Centre for Anthropobiology and Genomics of Toulouse（トゥールーズ 人類生物学・ゲノム研究センター）に DNA 分析を依頼しました。

- ② 研究紀要第 23 号執筆のため、国立公文書館、横浜市中心図書館及び東京都立中央図書館等において調査しました。
- ③ 2023 年度開催予定の春季特別展「浮世絵美人と馬(仮称)」のため、江戸東京博物館、神奈川県立歴史博物館、公文教育研究会、公益社団法人川崎・砂子の里資料館、国立歴史民俗博物館、城西大学水田美術館、シルク博物館、たばこと塩の博物館、東京都立中央図書館特別文庫室、藤沢市藤澤浮世絵館、早稲田大学演劇博物館において浮世絵版画作品を調査しました。
- ④ 静岡県函南町桑原区史跡保存委員会の依頼により、町内に所在する高源寺所蔵の馬具の調査及び保存に関する助言を行いました。
- ⑤ 大学教授、博物館・美術館学芸員及び研究者による当館所蔵資料の調査依頼に協力しました。

件数	調査依頼資料名
1	住吉具慶「源氏物語色紙 蛭」
2	「源平合戦図扇面」、狩野探信守道筆「源平合戦図絵巻（上下巻）」、「保元平治の乱画帖」

(3) 出版事業

- ① 春季特別展の開催にあわせ「馬とメルヘン」の展示解説ガイドブックを刊行しました。
- ② 秋季特別展の開催にあわせ「江戸狩野派と馬」の図録を刊行しました。
- ③ 「馬の博物館研究紀要第 23 号」を刊行し、財団ホームページにおいても公開しました。

(4) 馬に関する博物・図書資料の収集、保管

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、博物資料を購入しました。

① 購入資料（20 万円以上）

	資料名	
1	横尾忠則「アトリエの馬」 2020 年（令和 2）	1 点
2	棟方志功「馬頭観音図」 1948 年（昭和 23）12 月 2 日	1 幅
3	「乗馬之図」 江戸時代後期	1 巻
4	葛飾北斎「馬尽 有馬産」 1882 年（文政 5）	1 点

② 資料の管理・保管

- ・ 6月5日、6日に収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室等の床面消毒を、10月30日、31日に収蔵庫の燻蒸消毒を実施しました。
- ・ 版画資料の保存のため、資料31点のマット装を行いました。
- ・ 新たに収集・取得した博物資料、図書資料及び写真資料等の情報を資料管理システムに登録しました。

(5) 資料の貸出

博物館及び美術館等の依頼により資料を貸し出しました。

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	騎馬俑 他、計15点	北九州市立いのちの たび博物館	3.7～5.16
2	黄石公張良図沈金鞍 他、計3点	鎌倉国宝館	3.31～6.17
3	エドゥアール・マネ〈競馬〉1点	練馬区立美術館	8.10～11.25
4	坂本繁二郎《月光》 1点	久留米市美術館	10.14～ 2023.2.3
5	大和郡山城請取図屏風 他 計4点	亀岡市文化資料館	10.16～ 12.11
6	御成敗式目 2巻	鎌倉国宝館	10.26～ 12.23

その他、書籍、新聞、雑誌、テレビ等多くの媒体（62件）に当館所蔵品等の画像を無償提供し、当館資料の有効利用と広報活動に努めました。

(6) その他のイベント

① さくらウィーク（3月26日～4月3日）

博物館入館者を対象とした馬の博物館オリジナルグッズのプレゼント企画を実施しました。（先着600名様）

② 夏休み企画（7月23日～8月28日）

夏休み期間を活用し、主に小学生対象のイベントを実施しました。

- ・ 自由研究相談「馬博士になろう」 当日先着約10組
（7月23日・30日、8月6日・13日）
- ・ オリジナルアニメ『HORSE DREAMER』上映
（7月24日、8月7日・14日・28日）
- ・ ポニーの絵をかこう 事前申込制・定員各回8組
（7月31日午前・午後各1回、講師 田子淳子氏〔横浜市中区「なか
く街の先生」〕）
- ・ おちゃっぴ粘土教室 事前申込制・定員各回10組
（8月21日午前・午後各1回、講師 おちゃっぴ氏
〔ねんどクリエイター〕）

- ・ブックレット『馬のいろいろ』4種（公益社団法人日本馬事協会発行）
配布・各先着300冊

③ クリスマス企画（12月10日～12月24日）

横浜市と連携したミニコンサートと博物館入館者を対象としたオリジナルグッズのプレゼント企画を実施しました。（先着600名様）

- ・ミュージアムコンサート in 馬の博物館 事前申込制・定員約40名
（12月17日、主催 クラシック・ヨコハマ2022、出演 横浜市民広間演奏会）

(7) 馬に関する講演会等

① 講演会の開催

公益財団法人横浜市緑の協会主催の根岸森林公園歴史講座において「横浜開港、根岸競馬場誕生、そして競馬法制定へ」と題した講義を馬の博物館イベントホールで実施しました。（12月11日）

② 学芸員課程学生の博物館実習

東京農業大学、鶴見大学、女子美術大学より3名の実習生を受け入れました。（7月28日～8月10日）

(8) 他館等との交流

- ① 博物館事業の充実を図るため、神奈川県博物館協会が開催する会議、研究会に参加しました。

- ② 各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を実施しました。

(9) その他の協力

- ① 横浜市中心図書館の依頼により、移動図書館「はまかぜ号」の巡回場所として、4月20日より馬の博物館正門付近のスペースを提供しました。（隔週水曜日）

- ② 横浜市道路局主催の「ひつじのショーンが案内する横浜横須賀めぐりサイクルスタンプラリー vol. 3」（10月6日～12月15日）において、馬の博物館がスタンプポイントとして組み込まれた他、参加特典（抽選賞）としてオリジナルグッズを提供しました。

- ③ 馬車道商店街協同組合主催の「馬車道まつり」（11月3日）の出展協力として、「さわれる馬具」の展示を実施しました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

博物館事業の一環として、多品種の馬 11 頭を繋養し、馬場での放牧や騎乗等その他、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。

展示馬一覧表

	馬名	品種	毛色	生年	年齢	性別	産地	体高	入退厩日
1	ミカン	野間馬	栗毛	2010年5月	12	セン	今治市	100cm	2013. 2. 15 野間馬保存会より 借受
2	ゆき	北海道和種	河原毛	2011年4月	11	牝	函館市	127cm	2013. 11. 17 購入
3	マイネル キッツ	サラブレッド	栗毛	2003年3月	19	セン	新冠町	164cm	2013. 12. 11 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
4	シザーZ	Zangersheide	鹿毛	2005年6月	17	セン	ベルギ ー	168cm	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
5	マイネル ネオス	サラブレッド	鹿毛	2003年3月	19	セン	新冠町	160cm	2014. 11. 6 サラブレッドクラ ブ・ラフィアンより 受贈
6	サンゴ	与那国馬	鹿毛	2014年3月	8	セン	与那国 島	117cm	2016. 3. 8 購入
7	イツ	フリージアン	青毛	2002年4月	20	セン	ベルギ ー	166cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受 贈
8	エミ	ミニチュアホース	青毛	2001年	21	牝	不詳	88cm	2019. 11. 27 東京競馬場より受 贈
9	カスミチャ ン	サラブレッド	芦毛	2012年3月	10	牝	新ひだ か町	161cm	2019. 12. 18 購入
10	エベレスト	ベルギー温血種	芦毛	2004年4月	18	セン	ベルギ ー	172cm	2020. 3. 7 競馬学校より受贈
11	ヒメ	日本ポニー	鹿駁 毛	2009年4月	13	牝	旭川市	120cm	2021. 12. 16 東京競馬場より受 贈

※年齢は、2022年12月現在

(2) 馬事イベントの開催と外部協力

新型コロナウイルス感染症防止に留意し、ふれあいイベントを実施しました。

① 試乗会

毎月第3日曜日に各種「試乗会」を人数制限の上、実施しました。

(1・3・4・10・12月は馬車試乗会：先着10組、6月はポニー・馬の試乗会：各先着20名、2・7・8・9月は、降雨、暑熱対策等により中止)

② にんじんタイム

1・2月は先着20組、3月以降は先着30組の来苑者を対象として、馬に親しんでいただくため、毎週土曜日に、にんじんを与え、馬と触れ合うことができる機会を提供しました。

③ 根岸愛馬スポーツ少年団活動への協力

根岸愛馬スポーツ少年団の要請に応じ、年間を通じて安全を確保しながら適切な指導を行いました。

④ その他の協力

- ・学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れ、厩舎作業の見学等を体験する機会を提供しました。

○11月25日 横浜市立根岸中学校2年生 2名

- ・下記の外部団体主催イベントに日本在来馬やポニーを派遣し馬とのふれあいイベントを実施しました。

○10月1日「2022 動物感謝デーin Japan “World Veterinary Day”」

(主催：公益社団法人日本獣医師会)

派遣馬：ミカン号及びエミ号

○11月3日「馬車道まつり」(主催：馬車道商店街協同組合)

派遣馬：ミカン号及びサンゴ号

(3) 春秋特別イベント

- ① 春季は、例年5月5日に実施している「馬とあそぼうこどもの日」をコロナウイルス感染防止のため一日に集中せず、ゴールデンウィーク期間中(4月30日～5月7日)に分散して、「馬とあそぼうウィーク」としてイベントを開催しました。

実施日	イベント名	催物
4.30 ～ 5.7	馬とあそぼう ウィーク	4.30 にんじんタイム
		5.1 馬車の試乗会 (降雨にて中止)
		5.3 少年団騎乗供覧 フリーマーケット スケッチブックプレゼント
		5.4 在来馬とのふれあい 移動図書館巡回&読み聞かせ スケッチブックプレゼント
		5.5 ポニーの試乗会 馬の試乗会 ミニ電車の体験乗車
		5.7 にんじんタイム

- ② 秋季は、11月6日に「馬とのつどい2022」を開催し、体験乗馬や在来馬とのふれあい等、各種催しを実施しました。

実施日	イベント名	催物
11.6	馬とのつどい 2022 ～馬とアートに ふれる秋～	<ul style="list-style-type: none"> ・ポニーのお出迎え ・在来馬とのふれあい ・根岸愛馬スポーツ少年団の公開練習 ・ポニーの試乗会 ・馬の試乗会 ・展示放牧 ・特別展ガイドツアー ・巻物まきまき体験 ・マスコットホースを作ろう ・キーワードラリー ・ペーパークラフトコーナー ・フリーマーケット ・ミニ電車の体験乗車 <p><協力：東日本旅客鉄道(株) 横浜支社></p>

(4) 厩舎管理等

- ① 展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、定期的に伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の消毒・害虫駆除等の衛生管理を実施しました。
- ② 実馬の展示については、来苑者の厩舎地区への立ち入りを制限しましたが、馬の運動中の様子については「3密」を避ける施策をとりながら見学できるように展示環境の提供に努めました。

3 馬文化保存事業

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を実施する団体に助成金を交付しました。尚、当初は 42 団体に対して助成金の交付を予定しておりましたが、11 団体が行事を中止したため、31 団体に交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を実施する団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。また、団体への監査も併せて実施しました。

4 公苑の管理

草花の植栽や樹木の剪定等を計画的に実施し、公苑の整備と美化に努めました。また、公苑内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館 日数	入館者数					開苑 日数	入苑者数 (概数)	1日 平均
		大人	小人	団体	合計	1日 平均			
1月	20日	742	196	14	952	48	22日	12,840	584
2月	17日	827	175	15	1,017	60	20日	14,240	712
3月	24日	1,341	271	165	1,777	74	24日	20,840	868
4月	22日	1,330	271	85	1,686	77	26日	23,410	900
5月	26日	1,928	486	105	2,519	97	26日	25,030	963
6月	23日	1,478	326	76	1,880	82	26日	18,490	711
7月	20日	634	154	67	855	43	27日	9,960	369
8月	25日	945	231	20	1,196	48	26日	10,540	405
9月	22日	737	125	40	902	41	26日	17,210	662
10月	26日	1,006	164	63	1,233	47	26日	21,450	825
11月	25日	1,189	163	64	1,416	57	26日	24,800	954
12月	18日	643	134	83	860	48	23日	13,990	608
2022年 計	268日	12,800	2,696	797	16,293	61	298日	212,800	714
2021年 計	141日	5,619	1,032	207	6,858	49	179日	105,160	587
前年比 (%)	190.1	227.8	261.2	385.0	237.6	124.5	166.5	202.4	121.6

* 1日最高入館者数 368人 5月4日

* 1日最高入苑者数(概数) 3,850人 4月30日

* 教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
0	0	31	0	0	52	9	690	15

※ 1月25日から3月22日まで火曜日休館

3月23日より団体見学の受付を再開(最大50名)

II JRA競馬博物館における事業

1 JRA競馬博物館事業

(1) 馬及び競馬に関する展示

競馬に対する知識と理解を深めるため、以下のとおり、特別展、企画展及びエントランス展を開催しました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
2021.12.4～ 2.13	テーマ展「競馬ポスター展」	ギャラリー 展示室3
2021.12.4～ 4.17	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～ 競走馬を支える厩舎スタッフ～」	馬の学び舎
2021.12.11～ 2.20	エントランス展 「第41回ジャパンカップ優勝馬展」	エントラン スホール
2.19～4.17	テーマ展「2021年度JRA賞展」	展示室3
3.5～6.5	エントランス展 「2022年度新人騎手紹介展」	エントラン スホール
4.23～8.28	特別展「長瀬智之展～肖像画に生きる永遠の 名馬たち～」	馬の学び舎 ギャラリー
4.23～10.2	企画展 「オグリキャップ～今甦る芦毛の怪物～」	展示室3
6.11～7.31	エントランス展 「第89回日本ダービー優勝馬展」	エントラン スホール
9.10～ 2023.10.1	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと ～獣医師 馬のお医者さん～」	馬の学び舎
10.8～ 2023.2.19	特別展「生誕130年記念 尾形藤吉 ～“大尾形”の系譜～」	ギャラリー 展示室3 エントラン スホール 特別展示室
10.8～ 2023.4.16	企画展「藤沢和雄氏 顕彰者選出記念展」	競馬の殿堂 展示室3
10.29～ 2023.2.19	第10回野馬追の里 南相馬「子どもたちが描く ふるさと絵画展～全国展～」	馬の学び舎
12.10～ 2023.2.19	エントランス展 「第42回ジャパンカップ優勝馬展」	エントラン スホール

① 春季特別展

日本では珍しい馬専門の油彩画家で、1998年のデビュー以来、一貫して馬をテーマに制作を続けてきた長瀬智之氏を取り上げた「長瀬智之展 肖像画に生きる永遠の名馬たち」を開催しました。これまでに描いてきた名馬たちの肖像画をはじめ、五冠馬であるシンザン、シンボリルドルフ、ディープインパクトを一枚に描いた最新作を含む、絵画作品約70点を紹介しました。

また、会期中に展示室内で自身のライフワークである黒馬で構成される英国の王室騎兵隊“The Household Cavalry”をテーマにした大作に挑むライブペイントを馬の学び舎で開催し、8月21日には完成披露会を実施しました。（完成作品を含む一部の作品は、会期終了後も10月2日まで展示）

② 秋季特別展

中央競馬通算 1,670 勝、東京優駿（日本ダービー）通算 8 勝等今も残る数々の記録を残した尾形藤吉調教師を取り上げた「生誕 130 年記念 尾形藤吉 ～“大尾形”の系譜～」を開催しました。名馬を送り出して数多くの勝利を獲得したことにとどまらず、後世の日本競馬を支える人材を多数育てたことでも称えられる氏の偉大なる足跡について展示するとともに、関係者の証言により同氏がわが国の競馬に残した功績について紹介しました。

また、門下生の 1 人であり J R A 調教師顕彰者に選出された藤沢和雄氏を紹介するコーナーも併せて設けました。

③ 企画展

- ・馬の学び舎では、競馬を日々支えている調教師、調教助手、厩務員といった厩舎スタッフの仕事を紹介する「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」を 4 月まで開催し、9 月からは J R A の獣医師の仕事を中心に紹介する「馬にかかわるいろいろなおしごと～獣医師 馬のお医者さん～」を開催し、競馬サークルへの就業促進も図りました。
- ・ J R A では広報・告知用として作成している各種ポスターの中から、今回はヒーロー列伝のポスターを中心に紹介する「競馬ポスター展」を 2 月まで開催し、競馬の文化的な魅力を紹介しました。
- ・昭和の終わりから平成にかけて社会現象ともいえる競馬ブームを巻き起こしたオグリキャップを取り上げた「オグリキャップー今甦る芦毛の怪物ー」を開催し、同馬の蹄跡を振り返りました。
- ・一般社団法人原町青年会議所の主催として、「相馬野馬追」をテーマに福島県南相馬市内の小学 4 年から 6 年生の子どもたちが制作した絵画作品のうち入賞作品 58 点を展示した第 10 回 野馬追の里南相馬「子どもたちが描くふるさと絵画展～全国展～」を開催しました。

④ その他の展示

- ・ J R A 賞の各賞受賞馬・受賞者の功績を広く紹介するため、「2021 年度 J R A 賞展」を開催しました。
- ・エントランスでは、「第 41 回ジャパンカップ優勝馬展」、「第 89 回日本ダービー優勝馬展」及び「第 42 回ジャパンカップ優勝馬展」を開催しました。また、「2022 年度新人騎手紹介展」では、3 月にデビューした競馬学校騎手課程 38 期生 9 名及び小牧加矢太騎手を写真パネル等で紹介しました。

⑤ 競馬及び馬に関する常設展示

ライブシアター「Thoroughbred」において「サラブレッド・ラボ」、「競走馬への道～栄光を目指して～」及び「“競馬の祭典”日本ダービー～馬と人とが織りなすドラマ～」を上映しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運用を休止していた「なりきりジョッキー」や「スターティングゲート」等の体験機器は、2月9日から運用を再開しました。

⑥ 移動展示及び他団体主催展示への協力

	展示期間	展示タイトル	展示場所
	貸出資料		
1	11.2～ 2023.1.29	東京国立博物館創立150周年 記念事業「150年後の国宝展」	東京国立博物館
	ドウデュース号（第89回日本ダービー優勝馬）関係資料		

(2) 馬の学び舎 ミュージアム・ホールでの展開

等身大の馬像（ばん馬・サラブレッド・日本在来馬）を常設するとともに、下記展示を開催し、博物資料、解説パネルを設置しました。また、映像コーナーでは150インチ中型映像装置を用いて、オリジナルアニメーションや馬事文化紹介映像等を上映しました。

〈馬の学び舎 展示一覧〉

	展示期間	展示タイトル
1	2020.2.29～ 4.17	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～競走馬を支える厩舎スタッフ～」
2	9.10～ 2023.10.1	企画展「馬にかかわるいろいろなおしごと～獣医師 馬のお医者さん～」

〈馬の学び舎 映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル
1	アニメ馬物語	走れ！ドンタ
2	〃	博物館は大騒ぎ
3	〃	頑固馬ミカゲじいさん
4	アニメ HORSE DREAMER	島田牧場へようこそ
5	〃	天下の沙汰も馬しだい
6	グリーンチャンネル アーカイブス	超絶景競馬！ホワイトターフ in スイス サン・モリッツ
7	特別展関連映像	長瀬智之ライブペイント ダイジェスト映像
8	馬にかかわる仕事	日本の競馬を守る若き獣医師たち ～世界水準の先端医療をめざして～
9	馬にかかわる仕事	JRA 競走馬総合研究所 常磐支所 ～ターフで再び輝くために～
10	馬と祭り	相馬野馬追

(3) 競馬に関する博物資料の調査、研究

明治時代以降の競馬開催に関する文献資料を長期的に保存・活用するため、デジタルアーカイブ化に取り組みました。

(4) 出版事業

特別展開催にあわせて「生誕 130 年記念 尾形藤吉 ～“大尾形”の系譜～」の入館者向けリーフレット及び関係者向けパンフレットを刊行しました。

(5) 競馬に関する博物資料の収集、保管

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ドウデュース号馬主服（第 89 回日本ダービー優勝時使用）1 点
2	ドウデュース号蹄鉄（第 89 回日本ダービー優勝時装着）一式
3	ドウデュース号ゼッケン（第 89 回日本ダービー優勝時使用）一式
4	武豊騎手使用鞭（第 89 回日本ダービー優勝時使用）1 点
5	武豊騎手使用ゴーグル（第 89 回日本ダービー優勝時使用）1 点
6	第 6 回中山金杯優勝騎手賞（山本勲騎手）1 点
7	ヴェラアズール号馬主服（第 42 回ジャパンカップ優勝時使用）1 点
8	ヴェラアズール号蹄鉄（第 42 回ジャパンカップ優勝時装着）一式
9	ライアン・ムーア騎手使用鞭（第 42 回ジャパンカップ優勝時使用）1 点
10	シュヴァルグラン号蹄鉄（第 37 回ジャパンカップ優勝時装着）一式
11	エアグルーヴ号 1997 年年度代表馬受賞記念品（エルメス製）1 点
12	油彩画「群雄」長瀬智之作（有馬記念新聞広告原画）1 点
13	素描「Satono Diamond」長瀬智之作（有馬記念新聞広告原画）1 点
14	素描「Orfevre」長瀬智之作（有馬記念新聞広告原画）1 点
15	素描「Deep Impact」長瀬智之作（有馬記念新聞広告原画）1 点
16	素描「Manhattan Cafe」長瀬智之作（有馬記念新聞広告原画）1 点
17	トウメイ号風呂敷（第 64 回天皇賞秋・第 16 回有馬記念優勝記念品）1 点
18	メイケイエール号クオカード 6 枚

② 資料の管理・保管

- ・収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を実施しました。
- ・クラウド型の資料管理システムに、収集した図書・博物資料の情報を入力し、管理業務を実施しました。

(6) 馬に関する普及活動及び学習支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた各種イベントは中止しました。

2 来館者への案内業務

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を実施しました。

3 入館者

区分	開館 日数	入館者数	1日平均 入館者数	備考					
				開催日	2日	パークウインズ	8日	平日	0日
1月	10日	1,993	199	開催日	2日	パークウインズ	8日	平日	0日
2月	17日	4,439	261	開催日	6日	パークウインズ	2日	平日	9日
3月	22日	4,298	195	開催日	0日	パークウインズ	9日	平日	13日
4月	20日	6,304	315	開催日	3日	パークウインズ	6日	平日	11日
5月	21日	21,184	1,009	開催日	9日	パークウインズ	0日	平日	12日
6月	20日	12,027	601	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	12日
7月	17日	3,693	217	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	9日
8月	21日	4,914	234	開催日	0日	パークウインズ	8日	平日	13日
9月	22日	4,212	191	開催日	0日	パークウインズ	9日	平日	13日
10月	20日	14,056	703	開催日	9日	パークウインズ	2日	平日	9日
11月	21日	10,547	502	開催日	8日	パークウインズ	0日	平日	13日
12月	16日	3,075	192	開催日	0日	パークウインズ	9日	平日	7日
2022年 計	227日	90,742	400	開催日	45日	パークウインズ	61日	平日	121日
2021年 計	76日	14,578	192	開催日	31日	パークウインズ	45日	平日	0日
前年比 (%)	298.7	622.5	208.3		145.2		135.6		—

※臨時休館：1月5日、6日、12日、13日、19日、20日、26日及び27日
(競馬非開催日 [平日])

* 1日平均入館者数／総入館者数

東京競馬開催日 1,243人 / 55,945人

パークウインズ日 283人 / 17,290人

非開催日(平日) 145人 / 17,507人

* 1日最高入館者数 4,512人 5月29日(日本ダービー当日)

* 教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
186	0	110	50	0	20	48	458	0

Ⅲ 競馬振興会館（Gate J.）事業

1 競馬振興会館（Gate J.）事業

(1) 馬の文化及び競馬に関する展示と各種情報の発信

① Gate J. 東京

昨年 11 月のリニューアルオープン以降、一部提供サービスの制限・中止等規模を縮小したテスト運用を継続していましたが、11 月 1 日からは閉館時間を 17 時から 19 時に延長し、物販コーナーを新設した他、競馬関連情報検索用パソコンの利用及び館内モニターにてグリーンチャンネル番組の放映を開始しました。

また、施設内の展示コーナーを活用し、下記の企画展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	2021. 11. 24～ 4. 8	・パネル展示：日本洋式競馬の歩み、馬事文化振興・発展の取り組み、馬の博物館所蔵資料の紹介 ・実物資料展示：ブロンズ馬像（エクリプス号他 3 体）、天皇賞御紋付楯（複製） 実使用蹄鉄（ディーピンパクト号他）
2	2. 9～4. 25	パネル展示「2021 年度 JRA 賞展」
3	3. 2～5. 9	パネル展示「2022 年デビュー 新人騎手紹介展」
4	4. 11～9. 30	先行展示 JRA 競馬博物館特別展「長瀬智之展～肖像画に生きる永遠の名馬たち」企画展「オグリキャップー今蘇る芦毛の怪物ー」
5	5. 6～6. 6	パネル展示「プレイバック オークス&日本ダービー」
6	6. 8～8. 1	パネル展示「GI プレイバック Spring Season 2022」
7	8. 3～10. 3	パネル展示「2022 Big Race Schedule Autumn Season」
8	10. 3～12. 9	エリザベス女王追悼特別展「英国王室と競馬」
9	10. 5～11. 28	パネル展示「Memories of Japan Cup」
10	11. 30 ～2023. 1. 10	パネル展示「Memories of Grand Prix 有馬記念」
11	12. 12 ～2023. 2. 3	移動展示「第 7 回競馬写真家写真展『翼 サラブレッド 2022』」

② Gate J. 大阪

今夏に実施したリニューアル工事（A 館の機能を B 館に集約）により、設備品及び映像・音響機器等を一新し、10 月 1 日にウインズ梅田 B 館 1 階での運用を再開しました。

また、施設内の展示コーナーを活用し、下記の企画展示を実施しました。

	展示期間	展示タイトル
1	10. 1～11. 14	エリザベス女王追悼特別展「『エリザベス女王杯』の歴史」

2	11.19～12.26	Gate J. 大阪リニューアル記念『オグリキャップ知られざる素顔』画家 喜多浩子 初公開スケッチ画と思い出のコラム展 アトリエの屋根裏に30年眠り続けた栗東トレセンでのオグリキャップ日常の素描画作品
3	11.19～2023.1.10	オグリキャップ号関連資料展示（JRA 競馬博物館所蔵）

(2) イベントの実施

Gate J. 東京

グリーンチャンネル番組「草野仁の Gate J. + (プラス)」の収録を12回実施しました。2020年3月以降、無観客での収録を継続していましたが、馬の博物館の春季特別展の関連企画として、出張収録を行い、有観客（事前申込による定員制）で実施しました。また、競馬関連団体の依頼による2件の映像収録に対応しました。

その他、Gate J. 協賛企画・出張イベントを下記のとおり実施しました。

	会期・実施日	内容
1	10.14～20	協賛企画 第7回競馬写真家写真展「翼 サラブレッド2022」大阪会場（於：富士フィルムフォトサロン大阪）
2	11.3	出張イベント 「馬車道まつり2022」（於：馬車道商店街）
3	11.6	出張イベント 「馬とのつどい2022」（於：根岸競馬記念公苑）
4	11.25～12.1	協賛企画 第7回競馬写真家写真展「翼 サラブレッド2022」東京会場（於：富士フィルムフォトサロン東京）
5	11.26	出張イベント 特別展「生誕130年記念 尾形藤吉“大尾形”の系譜」開催記念トークショー（於：JRA 競馬博物館）

(3) 馬の文化及び競馬に関する各種映像の放映

Gate J. 東京

大型モニター等を利用し、ドローンの撮影による北海道の馬産地の風景映像や、写真家による競馬写真のスライドショー等の映像を放映しました。また、11月1日よりグリーンチャンネル番組の放映（13時以降）を開始しました。

なお、次年度以降の放映に向けて日本在来馬紹介映像（野間馬及び対州馬編）を制作しました。

その他、馬の博物館等の当財団施設や展示の告知・紹介等を実施しました。

2 入館者

区分	Gate J. 東京			Gate J. 大阪		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	19日	908	48	0日	0	0
2月	15日	620	41	0日	0	0
3月	22日	916	42	0日	0	0
4月	20日	841	42	0日	0	0
5月	19日	801	42	0日	0	0
6月	22日	1,021	46	0日	0	0
7月	19日	753	40	0日	0	0
8月	22日	917	42	0日	0	0
9月	20日	807	40	0日	0	0
10月	20日	838	42	16日	5,728	358
11月	20日	1,008	50	12日	4,273	356
12月	20日	1,319	66	14日	7,632	545
2022年計	238日	10,749	45	42日	17,633	420
2021年計	25日	2,095	84	0日	0	0
前年比 (%)	952.0	513.1	53.6	-	-	-

※Gate J. 東京は、11月1日より閉館時間を17時から19時に延長。

※Gate J. 大阪は、1月から6月30日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館。7月1日から9月30日までリニューアル工事を実施し、10月1日より再開館。

* 1日最高入館者数 東京 116人 10月9日
大阪 1,738人 12月25日（有馬記念当日）

IV 広報活動

1 馬の博物館

① グリーンチャンネルにおいて春季特別展「馬とメルヘン やなせたかしの世界」、秋季特別展「江戸狩野派と馬」の紹介映像を放映しました。

その他、JRA各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所、近隣の協力企業等にポスターやパンフレットを配布し、広報活動の一助としました。

② 春季・秋季特別展をはじめ、展覧会開催時には地元メディアや近隣に周知を図りました。

③ 月刊誌「優駿」等のJRA発行印刷物に展示案内を掲出しました。

④ テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。

※競馬ブックでは秋季特別展を紹介するカラー記事（2頁）が掲載。

- ⑤ ホームページや Facebook、Twitter を活用し、最新情報・展示情報を随時更新するとともに、臨時休苑・休館等の緊急告知にも迅速に対応しました。また、ホームページについては、視聴者の機器に応じて適した画面に対応する機能を追加しました。
- ⑥ 館内及び近隣駅の観光案内所に英語版の案内リーフレットを配布し、外国人観光客の受け入れ態勢を整えました。

2 J R A 競馬博物館

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため J R A 東京競馬場への入場に制限がかかっていましたが、政府の方針を受け緩和の傾向にあったことから、春及び秋の東京競馬開催中はインターネット広告、競馬雑誌等による告知を行いました。
- ② 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に活用し、競馬場来場者等への博物館誘導を図りました。
- ③ 月刊誌「優駿」等の J R A 発行印刷物には、開館状況及び展示に関する案内を掲出しました。
- ④ ホームページを随時更新し、開館状況及び展示に関する告知を図りました。さらに4月より J R A 競馬博物館公式 Twitter を新規で開設し、Facebook と併せて適時、情報を発信しました。
- ⑤ オリジナルカレンダーを制作し、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者に配布しました。なお、来館者への配布については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため Web 申込みによる郵送にて実施しました。

3 Gate J. 東京・大阪

- ① 2021 年の Gate J. 東京リニューアルオープン時に制作した施設案内のハガキ等を適宜配布し広報活動の一助としました。
- ② Gate J. 大阪のリニューアルオープンにあわせて9月30日にホームページを一新しました。再開後は、東京とともに開催中の企画展示等最新情報の発信に努めました。

- ③ 館内のパネル展示コーナー等を活用して、馬の博物館・J R A競馬博物館の展示活動をはじめとする当財団事業の紹介及び展覧会の開催告知を行いました。

V J R A 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

J R Aから業務委託により、J R A賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を実施し、272作品の情報と候補作品5点を選定し報告しました。

VI 寄附金・募金の受入れ状況

在来馬保護のため総額 387,855 円の寄附金を受入れました。

- ① 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 106,015 円

- ② 在来馬種の保存のための寄附金

受入日	寄附金額 (円)
2.25	127,840
4.27	24,000
6.12	30,000
6.13	30,000
11.7	60,000
12.10	10,000
合計	281,840

VII 庶務

- 1 評議員に関する事項 (2022年12月31日現在)

氏名	就任日	退任日
岡部 長忠	2013.1.4	
澤野由紀子	2013.1.4	
山崎 毅紀	2013.1.4	
小畠 薫	2020.12.10	
楯岡 信一	2020.12.10	
清水 靖博	2021.4.1	2022.3.13
橋本 次郎	2022.3.13	

2 役員等に関する事項（2022年12月31日現在）

(1) 役員

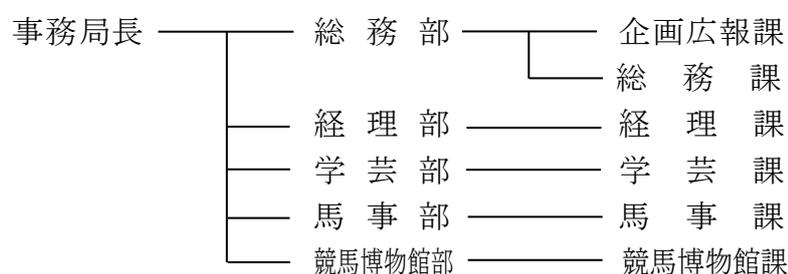
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	小林善一郎	2020.3.27	2022.3.24	
理事長	福田 正二	2022.3.24		
常務理事	山野辺 啓	2019.3.28		
理事	栗田 晴夫	2016.2.25		非常勤
理事	齊藤 茂	2020.2.27		非常勤
監事	石井 秀司	2018.2.23		非常勤
監事	杉浦 一成	2021.4.1		非常勤

(2) 参与

氏名	委嘱期間	備考
長塚 孝	2022.4.1～2023.3.31	2019.4.1～

(3) 職員及び組織図

職員 22 名、嘱託 4 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	書面決議 2.28	①令和3年度事業報告書について	6名	6名	全員賛成
		②令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	6名	6名	全員賛成
		③定款の一部改正について	6名	6名	全員賛成
		④任期満了に伴う理事及び監事の選任について	6名	6名	全員賛成

2	書面決議 3.13	①当財団評議員として橋本次郎氏を選任することについて	6名	6名	全員賛成
		②当財団理事として福田正二氏を選任することについて	6名	6名	全員賛成
3	書面決議 8.5	①令和4年度収支予算書の一部変更について	6名	6名	全員賛成
4	12.6	①令和5年度事業計画書について	6名	4名	全員賛成
		②令和5年度収支予算書について	6名	4名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果
			現在数	出席数	
1	書面決議 2.10	①令和3年度事業報告書について	4名	4名	全員賛成
		②令和3年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	4名	4名	全員賛成
		③定款の一部改正について	4名	4名	全員賛成
		④任期満了に伴う理事及び監事候補者の評議員会に対する推薦について	4名	4名	全員賛成
		⑤第1回評議員会の開催について	4名	4名	全員賛成
2	書面決議 2.28	①任期満了に伴い当財団理事長（代表理事）として小林善一郎理事を常務理事として山野辺啓理事を再任することについて	4名	4名	全員賛成
3	書面決議 3.6	①当財団評議員として橋本次郎氏を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
		②当財団理事として福田正二氏を選任するよう各評議員に提案することについて	4名	4名	全員賛成
4	書面決議 3.24	①当財団理事長（代表理事）として福田正二氏を選定することについて	5名	5名	全員賛成
5	7.22	①令和4年度収支予算書の一部変更について	4名	3名	全員賛成
		②第3回評議員会について（報告事項） ①理事長及び常務理事による職務の執行状況について	4名	3名	全員賛成
6	11.25	①令和5年度事業計画書について	4名	4名	全員賛成
		②令和5年度収支予算書について	4名	4名	全員賛成
		③第4回評議員会の開催について（報告事項）	4名	4名	全員賛成
		①職務の執行状況について			